

2017年1月25日

地域のさらなるイメージアップと沿線価値向上を図ります

東武スカイツリーライン「松原団地」駅の、  
どっきょうだいがくまえ そうかまつばら  
**「獨協大学前<草加松原>」への駅名改称日を  
 4月1日（土）に決定しました！**

東武鉄道株式会社  
 草加市  
 松原団地駅名変更協議会

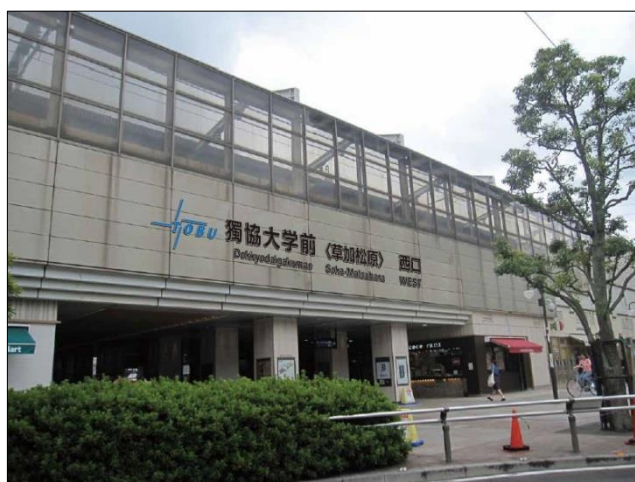
東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、東武スカイツリーライン 松原団地駅（所在地：埼玉県草加市）の駅名を「獨協大学前<草加松原>」へ改称しますが、このたび、駅名改称日を2017年4月1日（土）に決定しました。

新年度が始まる同日に駅名を改称することで、地域の皆さまと、ともに新たな一歩を踏み出していきたいとの思いを込めています。

当社では、このたびの駅名改称により、「大学のあるまち」として地域のイメージアップを図るとともに、国指定の名勝地「草加松原」を副駅名として広くPRし、観光・行楽のお客さまの誘致を図ることで、今後も地域とともに沿線価値向上を目指してまいります。

概要は別紙のとおりです。

以上



△駅名改称後の「獨協大学前<草加松原>」駅西口（イメージ）



△ 駅名改称後の駅名標板（イメージ）

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎ 03-5962-0102

## 東武スカイツリーライン 松原団地駅における駅名改称の概要

- 1 新駅名称 獨協大学前<草加松原>
- 2 駅名改称日 2017年4月1日(土)
- 3 所在地 埼玉県草加市松原1-1-1
- 4 乗降人員 56,266人(2015年度 1日平均)
- 5 駅開設日 1962年12月1日



△ 東武スカイツリーライン路線図 (主要駅のみ掲載)

以上

## <参考>

### 東武スカイツリーライン 松原団地駅 駅名改称の経緯

松原団地駅は、1962年に建設され、当時“東洋最大規模のマンモス団地”と言われた松原団地の最寄駅として、同年12月1日に開業しました。その後、1964年に獨協大学が開学し、各種文化施設が整備され、文化都市として発展し、現在も多くのお客さまにご利用いただいております。

このようななか、埼玉県草加市(市長:田中和明)では、現在、独立行政法人都市再生機構(UＲ)による「松原団地」の建て替えおよび市街地の整備が進展していること、2014年3月に旧日光街道の「草加松原」が国指定の名勝地“おくのほそ道の風景地”となったこと等から、草加商工会議所(会頭:野崎友義)を中心に、「松原団地駅名変更協議会」が設立され、今般、草加市及び同協議会の連名で当社に対し、「松原団地」の駅名を「獨協大学前<草加松原>」に変更して欲しい旨の要望が提出されました。

当社としても、開学以降、地域と歴史を重ねてきた「獨協大学」を駅名とすることで、「大学のあるまち」を想起させ、地域のイメージアップを図れるとともに、副駅名として国指定の名勝地「草加松原」を採用することで、観光地としてのPRにもつながることから、駅名を改称することとしました。

以上